

## 入学オリエンテーション 学部長挨拶 (令和2年4月7日)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新たに水産学部の一員となられた皆さんを教職員一同、心より歓迎します。

今年になって、新型コロナウイルスという人類が経験したことのない病原体のために4月2日の入学式も全員参加での大学入学式が行えない事態となりました。今日のオリエンテーションについても、安全確保の立場から予定時間を短縮した形で実施することになりました。大学生活の節目となる行事がこのような形になってしまったことは大変残念ですが、皆さんの健康と安全を考慮した上での長崎大学としての判断であることをご理解ください。

皆さんはいろいろな夢や期待をいだいて水産学部への入学を志したと思います。水産学部では、日本や地球をとりまく海のことや、海にすむ生物のこと、そしてそれらを人々の生活や経済活動にどのように活用していくかということなどについて徹底的に勉強できる環境を用意しています。講義と実験、そして2隻の水産学部附属練習船を用いた乗船実習など質の高い授業が、皆さんの知的好奇心を満足してくれることを願っています。また、そこでは同級生、在学生の先輩達、そして教職員との多くの出会いがあります。その中からはきっと、かけがえのない大切な出会いが見つかるのではないかと思います。

ところで、高校までの勉強では、問題には必ず一つの答えがありました。実社会では絶対的な答えなど一つもありません。その間を結ぶのが大学の教育です。ではどんなふうに勉強したらいいのか。海には何でも食べる雑食性の生物がたくさんいます。何でも積極的にトライして、その中から栄養を得て、残りは排泄して、成長していく。今の皆さんにぴったりのライフスタイルだと思います。そうすることによって、自分の真にやりたいことがきっと見つかると思います。興味

をもったらさらに勉強すると、新しい疑問がわいて、その先に何があるのか、どんな景色があるのかさらに調べたくなります。

何をやったらいいのか、悩んだりしなくても、先生方は皆さんに取り組んでほしいことをたくさんもっています。どんどんトライして頂きたいと思います。先生方は海のいろいろな分野のスペシャリストです。どんどん相談して下さい。また、大学生活では、同級生、在学生の先輩達、そして教職員との多くの出会いがあります。その中からきっと、大切な出会いが見つかるでしょう。

しばらくの間、私たち水産学部の人間にとっては不自由な日々が続きます。水産学部の特長である実験や実習などの実技を通じて学習する授業は、みんなが集まって直に接しながらおこなうものです。このような普通の大学生活が一日も早く始められるよう、今はどうか辛抱してください。しばらくはオンラインでの授業となりますが、私たち教員も不自由な中で一生懸命準備を行っています。皆さんの学生生活をサポートできるよう、できる限りの支援をしたいと考えています。水産学部での学びを通し、皆さんの人生と未来を切り開く力を身につけて頂くことを祈念して、私からの挨拶と致します。

令和2年4月7日  
長崎大学水産学部長  
萩原 篤志